



滝小だより

滝頭小学校学校だより 2021st

令和3年10月29日

11月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小

Hand in hands, Shining Smiles, We ♥ TKG



〒235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344、0345

Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/>

滝頭小 検索

すべてのちから

校長 鶴飼 数夫

新型コロナウイルス(=COVID-19)感染拡大第5波による緊急事態宣言が解除され、通常の登校となっておよそ1ヶ月が経ちました。おかげさまで、学校生活も少しずつ本来の姿を取り戻しつつあります。しかし、感染症がなくなったわけではありません。今後も引き続き、マスク・手洗いなどの基本対策を充分にとりながら、段階的に教育活動の再開を進めていきたいと思っておりますのでご理解ください。



先日、滝小スポーツフェスティバル21が実施されました。昨年に引き続き、時短のための種目数削減・参観者人数制限などコロナ禍を踏まえた形での開催となりましたが、皆様のご理解・ご協力により、無事に開催できたことに感謝したいと思います。とりわけ、PTA各委員会、おやじの会の皆様には、当日の運営スタッフとして多大なるご協力いただきました。また、近隣にお住まいの皆様には、当日だけでなく、練習や準備の段階から騒音等でご迷惑をおかけいたしましたこと深くお詫び申し上げます。

今年のSFスローガンは「すべてのちから」です。「全力」とは、自分の持っている力を最大限出し切るという意味と、会場にいる全員の力を合わせるという二つの意味をもっています。勝敗も点数も付かないのに全力なんて出せるのだろうか。そんな問いも生まれてきそうですが、この目標を実現している姿が随所に見られました。例えば高学年リレー。今年は事前の練習が充実していたのでしょうか、本番での大きなミスも見られず、各色とも順調にバトンをつなぎレースが展開されました。そして徐々にその差は広がり、最終走者を迎える頃には、ほぼ勝敗は決ってしまったかと思われるほど開いていました。しかし、アンカーを任された選手達は、トップも最後尾も関係なく、逆転の可能性を信じ、最後の最後まで全力で走りきりました。喜びと悔しさそれぞれの思いがあふれ出て来ましたが、その真剣な姿に心を打たれました。

また、各学年でのタイムトライアル。従来の徒競走に替わり、昨年からは実施しているこの種目の意義については、先月号でもお伝えしていますが、子どもたちが隣を走る仲間に勝つことを目標にするのではなく、自分の定めた目標を超えることを目指すものです。決して、順位を決めないことや競争をしないことを是として、「全員で手をつないでゴール。」というような主旨のものではありません。甘い目標設定をしたり、全力を出さなかったりすると、自分との勝負に勝つことはできない厳しいものなのです。ただ、本当に目標を達成できたのか、本当に全力を出し切れたのかという、その判定が外からは見えづらいということです。それをするのは、観客でもビデオでもなく、自分自身です。高学年のゴール付近では、0秒直前に「がんばれー!」というかけ声や、旗が拳がるたびに仲間への頑張りを讃える拍手・歓声がわき起こっていました。全力を出し切れたかどうか自分自身でジャッジしている仲間を後押ししているもう一つの「ちから」ですね。

各学年の演技では、それぞれ全員が渾身の力を振りしぼって動き、会場全体を一つにしていました。じっと見守る参観の皆様も熱い眼差しも大きな「ちから」になりました。

コロナ禍で生まれた新しい運動会の形は、「競争」ではなく「共生」を目指すものなのです。